

～ みんなでつくる 新しい かかみがはら ～

各務原市総合計画

2025 >>> 2034

かわら版

Vol. 2

令和6年4月発行

基本計画とは

基本計画は、基本構想に掲げる将来都市像「もっと みんながつながる笑顔があふれる元気なまち～しあわせ実感かかみがはら～」を実現するため、基本目標ごとに、施策の方針と成果目標など具体的な内容を総合的、体系的に明らかにするものです。

令和7年度～11年度までを前期基本計画、令和12年度～16年度までを後期基本計画とし、現在、前期基本計画の策定を進めています。



～ 基本計画の策定に向けて～

市民(若者)ワークショップを開催しました！

参加者同士の交流から生まれる意見やアイデアの収集、それらの基本計画への反映を目的として、3回のワークショップを実施しました。今後社会の担い手となる若年層の市民の皆様にも、分野ごとに、各務原市の強みや弱み、より良い将来に向けて取り組むべきことを考えていただきました。

《市が取り組むべきこと》

- 駅周辺の活性化
 - 空き家の公共活用
 - インバウンド向けの魅力向上
 - 次世代ビジネスの企業誘致
- など

- 子育てについて相談できる場の開設、支援
 - 達成感・充実感が得られる教育
 - 市内企業と働きたい母親のマッチング
 - スポーツ施設に民間のノウハウを活用
- など

- ごみ捨てカゴの増設(カラス対策)
 - 食生活改善など、病気を防ぐ身体づくりの活動推進
 - 分野ごとに縦割りにならない福祉支援
 - 地区単位でのより詳細な災害情報の発信
- など

テーマ	
1回目(R6.1.13) まちを支える	みんなが快適に暮らせる住みよいまち 《都市基盤整備》
	みんなで創るにぎわいと活力のあるまち 《産業・交流》
	みんなであつなく持続可能なまち 《行財政》
2回目(R6.2.4) ひとを育む	みんなが活躍する協働のまち 《市民協働》
	みんなで心豊かな子どもを育むまち 《出産・子育て・教育》
	みんなが輝き彩りのあるまち 《文化・スポーツ・生涯学習》
3回目(R6.2.12) くらしを守る	みんなでする自然豊かで美しいまち 《自然・環境》
	みんなで支えあい健やかに暮らせるまち 《健康・医療・福祉》
	みんなであつなく安全安心のまち 《防災・防犯》

《市民ができること》

- 公共施設の活用、イベントへの参加
 - 地域公共交通の積極的な利用
 - 市外に各務原市の魅力を発信
 - 市の財政状況を学ぶ
- など

- 自治会での積極的な意見交換、要望
 - 子どもと楽しめるまちなかマップの作成
 - 教育を支援するサードプレイスの提供
 - 海外への視点を持ち、文化の視野を広げる
- など

- ごみの分別知識を深める
 - 日頃からの軽い運動などで健康維持
 - 多世代間の交流、支え合いに繋がる地域イベントの開催
 - 一人ひとり、自らが防災対策を
- など

各種団体・企業へのヒアリング調査を実施しました！

各務原市で活動する各種団体や企業から、現状や課題、今後のまちづくりに対する意見などをお聴きし、次期総合計画策定に活用するため、令和6年1月から2月にかけて個別ヒアリングを実施しました。

基本目標	詳細分野	ヒアリング先
市民協働	市民協働	岐阜友の会
出産 子育て 教育	出産 子育て	子育てサークル (しゃんしゃん、はむえっぐ)
	子育て (要支援)	こもれば食堂 (社会福祉法人小松河福祉会)
	教育	稲羽中学校区学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)
文化 スポーツ 生涯学習	文化	公益財団法人 かかみがはら未来文化財団
	スポーツ	各務原市スポーツ少年団
	生涯学習	中央ライフクラブサークル 発表会実行委員会
自然・環境	自然・環境	各務原市生活学校
健康 医療 福祉	健康 高齢者福祉	グリーンベンチ男組
	健康 高齢者福祉	朝日町寿会シニアクラブ
	障がい児福祉	ラルジュ那加 (株式会社ラポール)
防災 防犯	防災	各務原防災推進ネットワーク
	防犯	小網町長寿会グリーンキャップ
都市基盤 整備	都市基盤整備	耀く大野町まちづくり委員会
	公共交通	岐阜乗合自動車株式会社
産業 交流	農業	各務原市農業委員会
	観光	各務原市観光協会
	観光	空宙博ボランティア
行財政	シティ プロモーション	株式会社 リトルクリエイティブセンター

主な意見

- 講座で希望者を集めるのではなく、気軽に立ち寄り話せる場所を。不安を取り除くための寄り添い話ができるとうよい。
- マタニティ広場、子ども館などは、同じ年の子を持つ親同士で、子育ての不安を共有できるためとてもありがたい。
- 体操教室や工作体験など、イベントを実施してくれる団体や企業をリスト化し、市から情報提供があると良い。
- 市には自治会加入や保護者同士のつながりによるメリットを市民に伝えていくことや、リーダーシップを期待したい。
- 天候に左右されず、展示、演奏ができる場所が限られる。新設せずとも、公園など既存の場所が活用できるような工夫を。
- 今後指導者不足が考えられるため、様々な団体と連携し、指導者の増加を図りたい。
- コロナ禍以来、サークル活動が停滞し、復調の兆しもあまり見られない。若者の参加も少ない。
- 福祉系、子育て支援系の団体とマッチングできれば、環境活動の幅が広がっていくため、交流の機会があると良い。
- 健康増進に関心を持つ地域や参加したいと思う人を増やすための積極的な情報発信・PRに取り組んでほしい。
- 市が実施するフレイル予防事業などと連携し、シニアクラブに参加することのメリットを発信しながら活動していきたい。
- 就学前・学齢期・義務教育期間終了後で、支援する制度、団体、部署が分かれており、支援の切れ目がある。
- 災害時、公民館などは自主避難所になる。休憩空間やプライバシーの確保を考慮した避難所利用に向けた取り組みを。
- 子ども会などと連携したい。子どもの安全をシニア世代が見守り、子どもがシニア世代を元気づけてくれる。
- 市内の商業施設、物流、産業拠点の連携が、活発かつ安全安心なまちづくりにつながると考える。
- 河川環境楽園から空宙博など、拠点同士をバスで繋ぐような連携ができるとよい。
- 各務原にんじん以外の農作物についても、市と協力して新たなブランドを作ることでも付加価値をつけていきたい。
- 木曾川周辺エリアの更なる整備や有効活用、近隣自治体との連携により、誘客につなげることが可能なのでは。
- SNS発信に加えて雑誌への掲載など、今まで以上に空宙博のPR活動に積極的に取り組むべき。
- 商店街の元気がなく、家や駐車場に変わってしまっている。官民連携に力を入れて活性化に取り組んでいきたい。

かわら版の
バックナンバーは
こちらから



<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/shisuei/shisaku/1008697/1017016/1019907.html>



≪発行元≫各務原市役所 企画総務部 企画政策課
Tel:058-383-4959